

徳育

佐世保德育推進会議

第5号



発行日 平成30年1月30日
発行 佐世保德育推進会議（佐世保市教育会内）
住所 栄町4番11号サンクル1番館2F
TEL/FAX (0956) 23-2856
E-mail sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp



「道は近きに在り」

佐世保德育推進会議 会長 木村 勝彦

佐世保市民の皆様には健やかにお過ごしのことと拝察いたします。
「德育通信」第5号の発刊に寄せて、一言ご挨拶申し上げます。

さて今年度の「第8回德育推進フォーラム」は、「子どもに伝える大人の德育～江戸しぐさに学ぶ思いやり」をテーマとして、平成29年9月30日に開催されました。かつての日本人が誰でもあえて意識することなく実践していた何気ないしぐさに、人間としての思いやりややさしさが素朴なかたちで表現されていたことを振り返り、今日失われかけているそうしたしぐさこそが、人間関係の潤滑油として德育推進の上でも大きな役割を果たすものであることをご来場の皆様と共に考えることができました。

德育と聞くと誰もがとつつき難く、自分とは縁遠いことと思いがちですが、実は徳の種は私たちの日常生活の中にきわめて身近なものとして存在しているのではないでしょうか。日々の生活とそれを織り成す人間関係の中の、何気ない言葉遣いや行動に徳のきっかけは見出されるのです。それをしっかりと教えることが德育の基本に他なりません。徳や德育がとつつき難く、縁遠いという感覚は、実は私たちがそのような身近な問題に目を向けようとしていないことに由来するのかも知れません。

古代中国の思想家孟子は、「道は近きに在り、而るに人これを遠きに求む。事は易きに在り、而るに人これを難きに求む」と述べております。すなわち「人の踏み行うべき道はいたって手近なところにあるのに、人はこれを高遠なところにさがし求めている。また、人のなすべき事はきわめて容易いことなのに、人はこれをわざわざ難しいものとして考えている。どちらも甚だしい思い違いである」というのであります。そして孟子は「其の親を親とし、其の長を長とせば、則ち天下平らかなり」、つまり「自分の親を親として尊び、目上を目上として敬いさえすれば、天下は自ずから太平に治まるのだ。これほど手近な、容易いことはあるまい」と述べております。

孟子の言う当たり前の振る舞いの中に、徳の手掛かりはあるのではないでしょうか。たとえば一徳運動として、多くの学校や職場、ご家庭が「挨拶」に取り組んでおられるのは、こうした観点からするとまさに当を得たもののように思われます。私たち一人ひとりの身近なところから、佐世保德育推進活動がますます進展していくことを祈念しております。

第8回

[29年度]

德育推進フォーラム

平成29年9月30日(土)

(於) 佐世保市体育文化館コミュニティセンター



江戸しぐさ伝承普及員
宮崎 牧子

佐世保の皆様、江戸しぐさの話をお聴きいただき、また「一期一会」のおつきあいをしていただき本当に有難うございました。

江戸時代の江戸の町方の心映え、いわゆる思いやり、やさしさの心を行動にする大切さを易しく説いている江戸しぐさ。既に一徳運動として学校、家庭、職場、地域で実践されているこの地こそ江戸しぐさが似合う街です。

「草主人従」や「尊異論」等の基本的な教えは変えないで今の時代に合った心が温まるすてきな「思草」をたくさん創り出してみられませんか。

大人と子どもみんなで見たり聴いたり話したり考えたり「お心肥やし」の時間を共有して、佐世保しぐさに進化させたらどうでしょう？

そしてこの「佐世保しぐさ」が皆様の日々の暮らしやこれから的人生に生かされると佐世保から長崎県全体へと豊かで美しい社会が広がるのではないかと思うのです。未来の佐世保のリーダー達が生きやすい世の中になりますように皆で力尽くしてまいりましょう。

会員代表

佐世保德育推進会議会員
(佐世保市保育会会員) 花城 千尋



フォーラムに参加させていただき、私自身が德育を改めて考えるきっかけとなりました。

子ども達に言葉や姿勢で德育を伝えていくよう、大人が見本を示さないといけないという責任を感じています。

德育とは、相手のことを思いやることによってみんなが気持ちよく、社会生活を送ることができるよう子どもから大人までみんなが大切にしたい取り組みです。

「德育」というと難しくとつづきにくい印象をもたれるかもしれません、まずみんなで「挨拶」を見直すことによって德育を考えるきっかけにしてみませんか？日ごろ、家族で挨拶していますか？職場や学校では挨拶をしていても、地域ではどうでしょう？

する人もされた人も気持ちの良い「挨拶」。まずは私たち大人から声をかけてみましょう。一人ひとりの心がけ、小さな取り組みの積み重ねで、みんなが気持ちよく過ごせる社会を作りたいですね。

会員代表

佐世保德育推進会議会員
(佐世保市PTA連合会副会長) 岩田 雄次郎



今回、PTA代表としてフォーラム座談会の登壇をお願いされたのですが、「古き良き日本」の習慣が失われてきているという印象とはちょっと違う話をさせていただきました。フォーラム直前まで3週間の海外出張だったのですが、その時に20代のアメリカの方が話してくれたのは、街を歩いただけで日本と海外との違いを感じるという事でした。その方が言うには、日本で街を歩くと、相手に対する気遣いからか、みんな自然とよけてくれるためぶつかることは無いが、同じアジア諸国でも、平気でぶつかってくる國もあるとの事。まさに、今回の「江戸しぐさ」のお話しにもあった、「傘かしげ」にも見られる『相手を思う行動』ではないかと感じました。最近のPTAの印象はと聞くと、いじめやモンスター・ペアレンツというマイナスイメージを思い浮かべる人も多いのではないかと思いますが、このような話を聞くと『まだまだ日本も捨てたものではない』と日本人であることを誇りに思うほど嬉しく思いました。もしかすると、失われてきているものはあるにせよ、時代の変化に対応しながら「古き良き日本」の習慣はまだ残っているのかもしれないという希望の光を、今回のフォーラムを通じて他の登壇者や会場の皆さんと共有することができ、この様な機会を与えて頂いたことに感謝した次第です。



子どもに伝える大人の德育
江戸しぐさに学ぶ思いやり



学生代表

長崎国際大学4年 桑江 良樹



今回「德育推進フォーラム」に、座談会の登壇者として参加する機会を頂きまして心より感謝申し上げます。

相手を思いやるしぐさや行動は常日頃から心がけているつもりでしたが、この度の講演を聞き、改めて振り返ったとき「本当に実践できているのか」と自信が持てませんでした。実践しているつもりでも習慣として身に付けていかなければ、意識が薄れていき、率先して行動に移すことは難しくなります。定期的に自身の行動を振り返ることは徳を高めるうえで必要なことです。しかし、振り返ったときや即座に判断しなければならない状況においてどんな行動が善く、どんな行動が悪いのかを見極めることができなければ、徳を高めるすることは難しいです。ではその善悪を判断する力はどうにして身に付けることが出来るのでしょうか。私は過去の体験や見たり聞いたりして得た体験からだと思います。これまでに培われた経験から道徳的な行いやその場に合った行動、さらには相手の気持ちまで判断し、考え方行動することが出来るのではないかでしょうか。つまり「德育」によって幼いころから徳を学び、体験することで徳に関する知識や経験を豊かにし、道徳的な行動を心がけ率先して実行する大人に成長していくことです。

私も反省を忘れず、徳のある大人になれるよう日々の経験を大切に積み重ねていきたいと思います。

学生代表

長崎国際大学3年 末次 可奈



初めに、第8回「德育推進フォーラム」におきまして、座談会での登壇者の一人として参加する機会をいただきましたことに感謝申し上げます。

私の在籍する長崎国際大学では、「いつも、人から。そして、心から」という標語のもと人間尊重の理念を掲げています。これを実現するに当たり、ホスピタリティ精神を全学生が体現的に学ぶ方法の一つとして茶道文化を設けてあります。茶道の授業では薄茶・濃茶点前等、単にお点前をするのではなく、禅語や茶花の意味を理解することを通じて目配り・気配りができる人間形成を担います。そしてそれが、相手を慮る心遣いに通じてお点前に於いての感動を創りだすことになります。さらに、そこでの学びは日常のあらゆる所に所作として現れます。

講演講師としてお越しいただいた宮崎先生は、「江戸しぐさ」は連鎖するとおっしゃられました。大人とも子どもともとれる私たち大学生が思いやりの心を育み、日常に反映するという環境こそが德育の輪を広げる一つの手立てだと感じました。

茶道文化の可能性が垣間見られるとともに、この環境に感謝しながら私自身も茶道文化に携わっている者の一人として、さらに德育の輪を広げる発信者として、それを改めて考え社会に貢献できるよう努めていきたいと思います。

まとめ

佐世保德育推進会議会長 木村 勝彦

今回の座談会は「江戸しぐさに学ぶ思いやり」という内容で、基調講演の宮崎牧子先生と4人の登壇者の方々によるフリートークセッションというかたちで行われました。江戸時代の人々があえて意識することなく実践していた何気ないしぐさ、たとえば「傘かしげ」「肩引き」「かに歩き」「こぶし腰浮かせ」「うかつあやまり」などのうちにどのような思いが込められていたのかという宮崎先生のお話を手掛かりに、私たちの日常生活の中における気づきや課題を自由に語り合っていただき、進行役としても充実した座談会になったのではないかと思っております。

德育は私たちの日常生活における身近な問題として、さまざまな人間関係のなかの具体的な言葉遣いや行動から問い合わせられなければなりません。かつての日本人が人間としての思いやりややさしさを素朴なかたちで表現していた「しぐさ」を考え直してみると、インターネットやSNSが幅を利かせる情報万能社会となって、人間同士の顔が見えにくくなっている現代だからこそ、極めて大きな意義を有しているように思われます。江戸しぐさの根底にあったという「お心肥やし」という考え方方は、德育推進の問題意識にも通じているのではないかでしょうか。



〈あいさつ〉
朝長則男市長



〈マナー講座〉
大鳥居祥子講師



〈佐世保市歌合唱〉
佐世保工商会議所女性会・ぼっぱ保育学院園児



〈入選作品紹介〉
佐世保市PTA連合会会長代理
岩田雄次郎

●講演・座談会についてお答えください。

- 心をみがく、育てるの大切さを学びました。身近な事から、自分でできることから始めてみようと思いました。（複数）
- 講演がとても具体的でとても分かりやすかったと思います。（複数）
- 講演と座談会が一つのテーマにつながっていて、深まりがありました。
- 座談会のメンバーが立場や年齢の異なる人だったので、新しい発見がありました。（複数）

9月30日(土)500名が参加して開催された德育推進フォーラム。皆様からいただいた感想の一部を掲載いたします。

●「德育推進フォーラム」や、今後の德育推進についてのご意見をお聞かせください。

- 「德育推進フォーラム」は、もちろん、德育推進について県内で唯一市政に盛り込み取り組んでいることについて、もっと市民に宣伝するべきだ、そのための新たな取り組みについて検討が必要ではないか？
- 德育がなくなってきている大きな原因是、「近所づきあいがほとんどないこと」だと思う。一人一人の顔が分かる地域づきあいが德育の推進につながると感じた。

子どもの頃、母から「徳を積みなさい」父から「名前を呼ばいたら返事をする」と同時に一步踏み出せるように身構えするように」と言われ、大人になって役に立っています。やはり親・大人が子どもに伝えるべきだと思っています。徳は目に見えない心のことかと思っていたが、そうでなく生活のそれぞれの場であいさつや人のふれあいの中で見えるもの、きこえるものだと気づかされました。

あなたの聞いて徳する話募集します!!

広報させぼ「德育通信」コーナーから、あなたが身の周りで見つけたり感じたりした「聞いたら心が温まる話」を募集します！

日常のほんの小さなうれしい出来事や、ぜひ皆さんに聞いてほしい德育に関するお話など、あなたの“聞いて「徳」する話”お聞かせください！

採用された方のお話は、広報させぼ「德育通信」コーナーに随時掲載させていただきます。

応募方法

応募用紙に必要事項と400字以内のお話を書き込み、佐世保德育推進会議事務局宛にお送りください。FAX・E-mailでのご応募も受け付けております。また、ご質問・ご感想等もお待ちしております。応募用紙は佐世保德育推進会議事務局ほか、佐世保市のHP、社会教育課で配布しております。

ご不明な点はお気軽にお質問ください。

佐世保德育推進会議事務局

TEL/FAX (0956) 23-2856

E-mail sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp

一徳運動

わが校の一徳運動



佐世保南高校では、毎年十月上旬に学校周辺の地域清掃活動を行っています。これは、常日頃からお世話になっている地域の方々に少しでも「感謝」の意を示し、より良い環境作りに貢献したいという思いで継続して行っているものです。私たちの校舎の中に犬尾川が流れ、かつら橋・かしわ橋・さくら橋の3つの橋が架かっています。また、正門正面には木場橋もあります。全国的に見ても校内に川が横断する立地条件を持つ学校というのは珍しく、生徒たちはこの川沿いの景観と共に季節の移り変わりを感じています。

当曰、生徒たちはゴム製の長ズボンを履きこの川に立ち入って、投棄されたゴミやいつも間にか流れ着いた漂流物などを回収しています。また近隣の住宅地に出向いてゴミを拾つたり雑草の処分も行っています。

鳥帽子岳と九十九島に囲まれた自然豊かな佐世保が、いつまでも美しくあり続けるように地域の皆さんと共に環境美化を実現していくと考えています。

長崎県立佐世保南高等学校 石橋 可巳

わが社の一徳運動



わが社は、佐世保市大塔町で鉄工所を営んでいます。少人数にて、経営している分一人一人にしつかり目が届きます。毎朝、活力朝礼を実行しております。そのことで多くの事を学びます。一日のスタートの挨拶を、元気よくお互いに相手をしつかり見てることの大切さ、道員に対しても愛情を持って使用することの大切さ、常に整理整頓を心がけ、お互いに相手を尊重しながら、和を持て過ごすことの大切さ、客先に対しても常に誠心誠意で接することの大切さなど、当たり前だけれど忘れられがちな人としての大切なことを日々学びながら頑張っております。

これからも、德育推進を通して、わが社の従業員だけでなく、関わる方々に広げていきたいと思います。

有限会社工ムケイ技研 代表取締役 松尾 啓一
わが社は、佐世保市大塔町で鉄工所を営んでいます。少人数にて、経営している分一人一人にしつかり目が届きます。毎朝、活力朝礼を実行しております。そのことで多くの事を学びます。一日のスタートの挨拶を、元気よくお互いに相手をしつかり見てることの大切さ、道員に対しても愛情を持って使用することの大切さ、常に整理整頓を心がけ、お互いに相手を尊重しながら、和を持て過ごすことの大切さ、客先に対しても常に誠心誠意で接することの大切さなど、当たり前だけれど忘れられがちな人としての大切なことを日々学びながら頑張っております。

小学校・光海中学校は、小中一貫型小中学校となりました。

一徳運動として、各町の公民館長さん、民生委員の皆さん、学校との連携を取りながら、登校時の子ども達への、安全通学を見守りながらの「あいさつ」を心がけています。
特に、地域住民の皆さんとの「あいさつ」は、本当にすがすがしい気持ちになります。

わが地域の一徳運動



私が住む西地区は、弓張岳の裾野に位置し、斜面地の見晴らしの良い地域であります。時代の変遷と共に変わりゆく環境、地形的な制約もあり人口減が進み、平成二十九年四月一日より金比良小学校・光海中学校は、小中一貫型小中学校となりました。
一徳運動として、各町の公民館長さん、民生委員の皆さん、学校との連携を取りながら、登校時の子ども達への、安全通学を見守りながらの「あいさつ」を心がけています。
特に、地域住民の皆さんとの「あいさつ」は、本当にすがすがしい気持ちになります。

又、地域では赤ちゃん（子育て井戸端会議）、お年寄りの地域いきいきサロンを始め、多くの地域行事（運動会、神社の夏・秋まつり、餅つき大会、鬼火焚き、公民館まつり）等、三世代の交流が図られております。今後も各行事が地域コミュニティの活性化に結びつき、誰もが安心して暮らせる町づくりが進展することを願っています。

わが家の一徳運動



祇園中学校PTA 合田 優子

「徳」は教えることも習うこともできず、自分で悟るしかないといわれる中で、私が子育てにおいて大切にしていることは、日本古来のしきたりや通過儀礼を通して、季節ごとの行事を家族全員で楽しむことです。

たとえば端午の節句や桃の節句には、その由来や先人の知恵や思いを話しながら、毎年子ども達と一緒に祖父母から贈られた大切な節句人形を飾ります。お盆や十五夜にはお団子を丸めてお供えしたり、大晦日には御節料理の一つ一つの意味を話しながら家族全員で作ったりしています。こうした季節ごとの行事や通過儀礼など通して、子ども達には受け継がれてきた生命の尊さや、成長に関わって下さった方々への感謝の心を感じてほしいと願っています。それを感じることこそが、他者への優しさや思いやりに通じるのではないかと感じます。

私は小さい頃から母によく言っていた「朝茶はその日の難され」の言葉を、自分が母親となり、毎朝、家族のために丁寧にお茶を入れながら思い出します。いつもドタバタ（笑）ワーキングママの私ですが、朝に美味しいお茶を楽しめるくらい規則正しい生活を家族で送り、巣立ちを控えた子ども達との時間を、心に余裕を持ちながら、これからも愛情いっぱい過ごしていきたいと思

賛助会員を募集しています!!

賛助会員とは、佐世保德育推進会議が推進する德育推進事業の趣旨に賛同していただける方、また本会議の運営を支援していただける方のことをいいます。

佐世保德育推進会議では当会の趣旨をご理解していただけるたくさんの賛助会員を募集しています。

□ 会費(年会費・口数は自由です)

●個人…1口1,000円 ●法人・企業…1口5,000円

□ ご賛同いただける方には、入会手続き「賛助会員加入申込書」をお送りします。詳しくは当事務局へご連絡ください。

ソシアル淳心ファッショングループ専門学校

佐世保商工会議所女性会

佐世保フロンティア法律事務所

賛助会員

(有)立山印刷

株 深町組

森 フジエ

小川正之

黒石英二

賛助会員

角田隆一郎

萩原活

片渕雅夫

匿名希望

(敬称略)